

地震工学委員会
平成 28 年度 第 2 回 (通算第 177 回) 運営幹事会
議事録 (案)

日時：平成 28 年 7 月 7 日(木)15:30～17:40

場所：土木学会 F 会議室

出席者：澤田(委員長), 運上 (副委員長), 庄司(幹事長)

池田, 原田, 丸山, 福武, 副島, 小野, 吉見, 渡辺, 西山, 佐藤, 古川, 市村 (敬称略・順不同)

<配布資料>

- 幹 177-01 平成 28 年度 第 1 回運営幹事会 議事録案
- 幹 177-02 平成 28 年度 地震工学委員会 予算管理
- 幹 177-03 平成 28 年度 小委員会予算案
- 幹 177-04 平成 28 年度 新規小委員会
- 幹 177-05-01 平成 28 年度 ジョイントセミナー準備状況
- 幹 177-05-02 学術交流基金助成採択
- 幹 177-05-03 JSCE2015 に基づく活動計画助成不採択
- 幹 177-06 平成 28 年度 第 2 回研究会企画
- 幹 177-07-01 地震工学研究発表会
- 幹 177-07-02 地震工学研究発表会・見学会
- 幹 177-08 平成 27 年度土木学会論文賞・論文奨励賞候補推薦選考委員会の招集
- 幹 177-09 土木学会全国大会特別セッション熊本地震報告会
- 幹 177-10 平成 28 年熊本地震への対応

(1)前回議事録 (案) の確認

- ・池田幹事より, 前回議事録案が報告された. 特に意見はなく, 議事録として承認された.

(2)協議・確認事項

【予算立案と小委員会活動管理】

① H28 年度予算管理（主：副島幹事，副：佐藤幹事）

- ・副島幹事より予算管理について報告された。また，庄司幹事長から，予算に関する過去の経緯について補足された。
- ・昨年実績より予算規模が 40 万円ほど不足となる見込みのため，全体的に経費を抑えめにする必要があることが確認された。
- ・予算不足を補うため，当委員会の活動に対する特定目的寄付を募る方策や，次年度のより積極的な予算確保（拡充支援金の増額）を目指し，利益の上がる事業を増やすこと等が検討された。

② 小委員会予算案の審議と決定（主：西山幹事，副：岩田幹事）

- ・西山幹事より小委員会予算案について説明された。
- ・小委員会経費が不足しているため，「若手助成金・その他」を 25 万・運営幹事会経費を 10 万減額とし，小委員会経費を 85 万+25 万+10 万=120 万とした。
- ・予算申請及び予算制約を鑑み，予算申請のあった各小委員会に対して，以下の予算（総額 135 万）を割り振ることが承認された。執行を 7~8 割程度に抑えていただき，弾力的に運用することとした。

地震防災技術普及小委員会	48 万円
地震工学論文集編集小委員会	16 万円
石積擁壁の耐震補強対策に関する研究小委員会	10 万円
性能に基づく橋梁等構造物の耐震設計法に関する研究小委員会	15 万円
橋梁の対津波設計に関する研究小委員会	8 万円
ライフラインに係わる都市減災対策技術の高度化に関する研究小委員会	8 万円
地形に残された地震痕跡データの集約と活用に関する研究小委員会	25 万円
水循環施設の合理的な災害対策研究小委員会	5 万円

③ 新規小委員会の設立（主：市村幹事）

- ・市村幹事より，「地盤・構造物の非線形地震応答解析法の妥当性確認/検証方法の体系化に関する研究小委員会」と「断層帯近傍における地震動メカニズム検討小委員会」の申請書について説明され，承認された。
- ・池田幹事より，熊本地震被害分析小委員会設立が提案され，承認された。運営委員会委員の積極的な参加が承認された。上記二件の申請とあ

わせ、三件をメール審議にはかることとなった。

・報告書の行き違い等が懸念されるため、小委員会の活動終了時期を年度末にそろえていただけないか依頼する。

④ ジョイントセミナー（池田幹事，吉見アドバイザー）

・吉見アドバイザーより，ジョイントセミナー開催案及び準備状況について説明された。

・池田幹事より，土木学会学術交流基金助成にて採択されたことが説明された。

【研究会・研究発表会関連】

⑤ 第2回研究会企画（主：渡辺(和)幹事，副：福武幹事）

・渡辺幹事・福武幹事より，研究会企画について説明された。

・9/14の1300-1500に開催することが決定された。運営幹事会を9/14の1530-で開催することとした。

⑥ 地震工学研究発表会準備状況（主：古川幹事，副：小野幹事）

・古川幹事より，地震工学研究発表会準備状況について説明された。

・参加費等を変更したことから参加人数の予想が難しい。積極的に広報を行っていくこととした。ポスター（PDFファイル）を作成することとした。地震工学会・地盤工学会に周知依頼を行う（地盤工学会に後援依頼することとした）。

【各種賞の推薦】

⑦ 論文賞等推薦作業スタート（幹事長，主：丸山幹事，副：星隈幹事）

・庄司幹事長より，昨年度資料をもとに，昨年度同様にすすめることが説明された。取りまとめは丸山幹事が行い，推薦論文選考は9/14の運営幹事会にて行う。

【熊本地震対応】

⑧ 速報会の映像データ公開（幹事長）

・庄司幹事長より，差しさわりのある部分を除き，映像公開することで

準備をすすめている旨，説明された。

⑨ 年次大会時の熊本地震対応（主：丸山幹事，副：市村幹事，原田幹事，片岡アドバイザー）

- ・丸山幹事より，土木学会全国大会特別セッションの準備状況について説明された。

- ・時間が限られていることから，「熊本県内の地震被害全般と熊本大学の取り組み」と「道路構造物の被害」，「地盤災害」と「地盤工学委員会」は重複が無いよう各々内容の調整を依頼する。

- ・質疑応答および全体討論の座長は庄司幹事長，司会は池田幹事が行うこととした。

⑩ 1周年企画（主：梶田幹事）

- ・庄司幹事長より，準備を進めている旨，説明された。

⑪ 学会及び地震工学委員会全体のその後の動き（幹事長，主：渡邊幹事，副：池田幹事）

- ・庄司幹事長より，経過について説明された。

以上

（記録：市村）